



みんなが幸せになれるまちを つくるために



ユニセフ
日本型子どもにやさしい
まちづくり事業
正式開始

日時

2021年
6月22日 火 14:00-15:15

会場：オンライン (ZOOM)

参加お申込は
WEBフォームから



<http://bit.ly/machi21>

第1部

「ユニセフ日本型CFCIの仕組み」

木下 勇 氏 (大妻女子大学教授 /
日本ユニセフ協会CFCI委員会委員長)

「町田市のCFCI」の取り組み

石阪 丈一 氏 (町田市長)

第2部

ディスカッション

「CFCIが果たす大きな役割」

司会：木下 勇 氏 (大妻女子大学教授 /
日本ユニセフ協会CFCI委員会委員長)

パネル：石阪 丈一 氏 (町田市長)
高須 幸雄 (日本ユニセフ協会 副会長)



お問い合わせ窓口
日本ユニセフ協会
広報・アドボカシー推進室



webmaster@unicef.or.jp



03-5789-2016 (平日：9:00~17:00)

子どもにやさしいまちづくり事業（CFCI）とは



ユニセフの「子どもにやさしいまちづくり事業」

（Child Friendly Cities and Communities Initiative = CFCI）は、子どもの権利条約の内容を地方自治体で具現化する世界的な取り組みです。その特長は、“まち”の人々がみんなで“まち”づくりに参加することで、特に、子どももまちづくりの主体、当事者として位置付けていることです。日本でも、ユニセフ日本型CFC自治体検証作業が、5自治体（ニセコ町、安平町、富谷市、町田市、奈良市）で、2018年10月29日から2年間の期間で実施され、この取り組みの有効性が確認されました。

イベント登壇者のご紹介（登壇順）

木下 勇（きのした いさみ）氏 大妻女子大学教授・千葉大学名誉教授



工学博士 都市・農村計画 東京工業大学建築学科卒。
ワークショップ、住民参加・子ども参画のまちづくりを実践・研究。
著書に『ワークショップ～住民主体のまちづくりへの方法論』
『遊びと街のエコロジー』『三世代遊び場図鑑』（編著）
『アイデンティティと持続可能性』（編著）など。
日本ユニセフ協会「子どもやさしいまちづくり事業（CFCI）委員会」委員長、こども環境学会理事・副会長など。

石坂 丈一（いしざか じょういち）氏 町田市長



1947年町田市野津田町生まれ。
横浜国立大学卒業後、横浜市に就職。総務局、企画財政局、総務局緊急改革推進本部理事、港北区長を歴任、途中横浜国際平和会議場（パシフィコ横浜）や総合研究開発機構（NIRA）にも出向した。
2006年町田市長に就任、現在4期目。保育所待機児童の解消や、放課後子ども教室・子どもクラブといった子どもの居場所づくりを始めとする「子育て世代が選ぶまち」の実現を目指している。

高須 幸雄（たかす ゆきお）（公財）日本ユニセフ協会 副会長



外務省に入省後、国連政策課長、インドネシア公使などを歴任。
1993年国連事務次長補（財務官）として、国連の予算・財政を総括。
2000年外務省国際社会協会部長に就任し、人間の安全保障等に関する国際協力を推進。国連日本政府代表部常駐代表を務め（2007-2010年）、安保理議長に2回就任。2012年から2017年5月まで国連事務次長（行政管理局長）として国連の管理全般の責任者。2010年以来事務総長特別顧問を務めている。2019年より現職。